第3回 貝塚ひびきあいまつり
2014年11月16日(日)

せんごくの里ニュース
ふなで

2014年6月　第9号

〒597-0051 貝塚市王子1183-3
TEL.072-437-1075
FAX.072-437-1076
発行者：永田 美子

力作、手作りドラえもん。貝塚中央公民館が開催した「公民館まつり」に出展しました。↓

「せんごくの里」で力いっぱいはたらくぞ！

第四中学校のボランティアの皆さんとせんごくの庭に花苗を植えました。

4面につづく

利用者一人一人が主人公として輝けるよう一丸となって

新緑と初夏の太陽がキラキラとまぶしい季節になりました。

新たな年度がスタートし、毎日が順風満帆とはいきませんが、利用者の皆さんは、これまでの経験の積み重ねの上に、より一層、せんごくの里での生活に馴染み、自分に自信と見通しを持ち、少しづつ力を蓄えていってくれているように感じます。同じような場面に遭遇しても以前とは少し違う、逞しさや大人としての表情が見えて、「あ、変わったな～」と感激することもしばしばです。

開所して4年目。これからもご家族と連携し合い、地域の支えもたくさん頂きながら、利用者一人一人が主人公として輝けるよう、職員一丸になり、山ほどの課題に対して積極果敢に取り組んでいかなければならないと思っています。

せんごくの里　所長
永田 美子

家族会

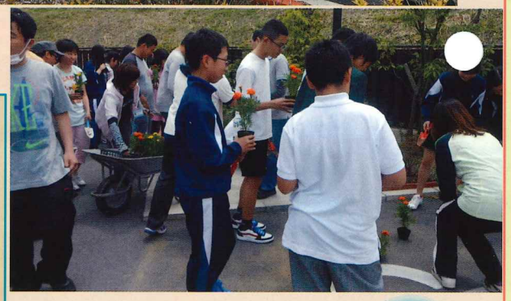
総会を開催

家族会会長　岸本 節子

新年度が始まり、4月26日に家族会総会を開催し新役員が決まりました。役員一丸となって頑張って参りますので、皆様のご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、せんごくの里家族会も4年目を迎えました。今年も11月に行われる「貝塚ひびきあいまつり」や情勢学習会などの取り組みに力を注いでいきたいと思います。また、家族会として『くらしの場』についての論議を始めていけたら、と考えています。福祉情勢は厳しくなる一方ですが、会員一人ひとりの力を合わせ一歩ずつ前に進んでいきたいと思います。

貝塚第四中学校のみなさんありがとうございました



自治会

5月9日、せんごくの里、こすもすの里、あさひ希望の里の自治会役員のみなさんで交流会を行いました。それぞれの自治会活動の紹介が行われ、せんごくの里の役員も担当を決めて発表しました。あさひ希望の里からせんごくの里の、音楽、体操、よさこい踊りのサークルについて質問があり、昼食後の休憩時間を利用していることを伝えました。短い時間でしたが、3施設で話しあったことを、これからの運営に生かしていこうと交流会を終えました。

はじめまして

副所長　**寺田　恒**

4月から副所長として勤務しています、寺田恒（てらだひさし）です。前職場はすみれ共同作業所です。

昨年4月に障害者総合支援法が施行され、また今年の1月20日には障害者権利条約を批准し、来年4月には障害者差別解消法が施行されるなど、障害当事者・家族・施設等を取り巻く情勢は大きく変わっていきます。それらの動きを的確に把握し、私たちの求める社会の実現に向け行動につなげる事が大切です。まずは、せんごくの里からその動きを作っていけるよう力を尽くしたいと思います。

また、施設の諸課題や利用者・家族の願いの実現に一歩ずつ前進していけるようがんばりたいと思っています。皆さんよろしくお願いします。

しろいくも

人気沸騰！日替わりランチ

これからもよろしく～

白いくもはランチメニューを始めて早２年半！一番人気は毎日手作りで工夫をこらした日替わりランチです！有難いことに地域の方やHPを見て来られた方等、リピーターのお客さんも増えています。写真は当店自慢の食パンを使ったサンドイッチ（日替わりランチ）。変わらぬ味と値段でがんばっています！ ぜひ食べにいらして下さい♪

楽しみがたくさんある せんごくの里に

郷出 令子：

おしゃべりが多く「静かに!!」というほど、一人言も多い元気です。もう４０歳になりますが、多動で言葉の少ない、電車好きの子どもでした。

目標は社会で働けるようにと、言語訓練、高校受験、支援学校、就職と頑張ったけれど、９年間働いた末に大きなダメージを受け、もう頑張ることの意味を失うこととなり、今はおいしい給食とお給料のある作業、気持ちのよい散歩、楽しい外出の取り組みがあるせんごくの里へ通所する毎日です。

家族の思い

いつも笑顔で迎えてくれる やさしい気持ちをずっと

三浦 ゆり

滉也は小さい頃より発育が悪く、話すことが出来ず、支援学校を卒業後、せんごくの里にお世話になり３年を迎えます。

毎日、作業所に行くのが楽しい様子です。

一人で出来ないことも沢山あるため、利用者の方にも助けていただき、毎日を過ごしています。

そして、いつも家族みんなを笑顔でむかえてくれますね。ありがとう!!

これからも人と関わりを持ち人の気持ちがわかる優しい滉也でいてほしいと思います。

習字やよさこい踊りに楽しい余暇・サークル活動も少しずつ充実してきました

用紙に向かい真剣なみなさん ～習字～

⇕ 今年結成された "よさこいサークル" です

ゆっくり、じっくり、確かな一歩 仕事は楽しい

いつも全力

いきいき班

新年度がスタートしました。気持ちを新に、はりきって活動しています。引き続き紙すき、コーヒー豆をリサイクルした消臭袋、油処理袋、手芸とそれぞれグループに分かれ、一人一人が力を発揮しています。新しい商品を作れないか？どこを改善するともっといい商品になるかな？手芸グループで作っているティッシュケースは売り切れ状態になるほど大好評！隣のわくわく班の軽作業も一緒に行うようになり、作業に活気が出ています。土曜日の絵手紙や習字の取り組みも楽しい時間です。何より楽しみなお給料日をめざし、今日もお仕事頑張ります!!

（支援員 曽我部 真由子）

わくわく班

最近はすっかりプラスチック製品が主流になっています。みんなこの仕事が大好き。最初のころは失敗もありましたが、今ではほとんど修正することなく仕上がっていきます。たくさん入荷した材料の山もすごい勢いで減っていきます。そして納品も楽しみの一つ。誰が行くかで毎回悲喜こもごも？!次の入荷でドキドキ。「お給料もらったら、カフェ、行こうな！」「貯金するわ」とこれからも仕事に余暇にますます充実のわくわく班です。

（支援員 山口 由香）

白いくも

ユニフォームをリニューアル やる気満々 !!

5月中旬からカフェスタッフのユニフォームが新しくなりました。

3年半、同じユニフォームで頑張ってきたので、新しいユニフォームに袖を通すと、自然と笑顔になり、やる気もみなぎってきたようです（笑）!!

スタッフ一同お待ちしておりますので、皆さん、是非ご来店ください。

（支援員 横尾 慎二）

音楽療法 Vol.4

音楽を伝える、共に楽しむ

浦川 暁美

ミュージック・ケア（MC）のお話し、第四弾です。今回は職員さんが、試行錯誤しながらメンバーさんと関わっている様子について書かせていただきますね。

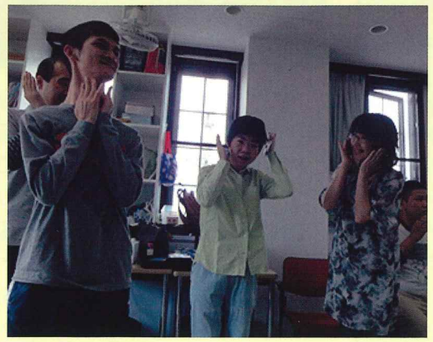
「音楽を伝える」「音楽を共に楽しむ」「共に過ごす」…、感覚では何となく分かるけれど、実際にどのようにすれば良いか難しいところです。メンバーさんの耳に届いている曲のリズムをタッピング等で伝えることは「音楽を伝える」第一歩です。

職員さん自ら音楽を楽しむ事が「共に楽しむ」時間に繋がります。セッションへの参加や模倣を強制せず「貴方と同じ方向を見てみよう。感じてみよう」という気持ちと姿勢が「共に過ごす」事に繋がります。

私が「見守ってあげましょう。大丈夫ですよ」と頻繁に言うものですから、当初職員の皆さんに戸惑いが見受けられましたが、最近ではどこに職員さんが座っているのか分からないくらい、自然体で参加して下さるようになりました。

メンバーさん、職員さん、私…と皆で作る時間と空間の心地良さが、回を増す毎に大きくなってきています。

次はどんなお話しをしましょうか…。お楽しみに。



きょうされん

署名・募金へのご協力 ありがとうございました

きょうされん第37次国会請願署名と募金へのご協力、ありがとうございました。みなさんのご協力で、1030筆の署名が集まりました。

きょうされんでは、多くの団体と手をつなぎ、誰もが働く喜びを実感し、働きがいをもって暮らせる、住みよい地域づくりをめざしてよりよい制度を求めていくなど運動をひろげてきました。今年度は、〝あたりまえに働き、えらべるくらしを〟～障害者権利条約を地域のすみずみに～をスローガンにして活動がすすめられています。障害を持つ人々が大切にされる社会をめざして、きょうされん運動にともに力を合わせていきましょう。よろしくお願いしたします。